



平素は、JAとうとの事業運営に各別のご支援、ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

国内経済は、新型コロナウイルスによる経済停滞を経て、経済活動の再開が本格化し始めた一方で、物価の高騰が日常生活に深刻な影響を及ぼしており、依然として予断を許さない状況にあります。

国際情勢では、世界的な人口増加や経済発展に伴う食料需要の高まりに加え、物流の混乱やロシアによるウクライナ侵攻など、食料安全保障のリスクに直面しています。

当JAを取り巻く環境においては、組合員の高齢化、特に正組合員の減少、准組合員の増加による組織基盤の変化、超低金利による収益力の低下等、大きな転換点を迎える状況のなかで、農業所得の増大および農業者の満足度向上に向けた取り組みが強く求められています。

こうしたなか、JAとうとは、第8期(令和4～6年度)中期計画により、組合員の皆さま方との対話を基に、農業者の所得増大、地域の活性化、経営基盤強化に取り組みました結果、概ね計画どおりの事業実績をご報告できますことは、ひとえに組合員ならびに地域の皆さま方の温かいご支援ご協力の賜であると重ねて厚くお礼申し上げます。

なお、金融機関の経営健全性を示す指標となります自己資本比率は令和5年3月31日現在21.07%と引き続き安心してご利用いただける経営内容となっております。

令和5年度は、中期計画のステップアップの年度として各施策を着実に実践し、自己改革を押し進めるとともに、「JAとうと」が将来にわたり総合事業を継続的に展開し、組合員ならびに地域の皆さま方のご期待にお応えできるよう、役職員一丸となって事業活動に取り組む所存でございます。

ここに「2023版 ディスクロージャー誌」を発行させていただきますので、ご一読いただきJAとうとへのご理解をさらに深めていただき、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年7月

代表理事組合長

古川 敏之